

## 第7回 北大阪健康医療都市を中心とした健康・医療のまちづくり会議 議事要旨

### 1 開催日時

平成27年(2015年)8月4日(火) 午後1時30分～午後3時30分

### 2 開催場所

吹田市立総合福祉会館社会適応訓練室

### 3 構成員出席者

吹田市医師会 四宮監事、川西会長、吹田市歯科医師会 千原会長  
吹田市薬剤師会 大森会長、摂津市医師会 細川会長、大浦副会長  
摂津市歯科医師会 喜島常務理事、摂津市薬剤師会 石田副会長  
国立循環器病研究センター 内藤病院長、三石企画戦略局長、桑島部長  
市立吹田市民病院 衣田総長、前田事務局長  
大阪府吹田保健所 谷口所長、大阪府茨木保健所 高山所長  
摂津市 島田保健福祉部理事、摂津市保健センター 福永事務局長  
吹田市 米丸特命統括監、石田健康医療担当理事、  
安井保健施策(中核市移行)担当理事、乾都市整備部担当理事

### 4 構成員欠席者

摂津市 堤保健福祉部長

### 5 案件

- (1) 4街区駅前複合施設について
- (2) 7・8街区都市型居住ゾーン事業コンセプトについて
- (3) 北大阪健康医療都市を中心とした健康・医療のまちづくりに関する考え方について  
中間報告【案】
- (4) その他

### 6 議事の概要 別紙のとおり

事務局 第7回「吹田操車場跡地を中心とした健康・医療のまちづくり会議」を開催します。本日はお暑いところお集まりいただきましてありがとうございます。議事に入る前に、今回から国立循環器病研究センターの桑島政策医療部長に御参画いただきます。

－資料1「当会議の名称変更について」にて説明。

今回から本会議の名称を変更させていただきます。また、前回の会議の議事要旨を最後につけさせていただいております。

それでは、早速議事に入らせていただきます。本日は議事次第でございますように、大きくは3点ございます。駅前の複合商業施設につきまして、その後の進捗をJR西日本から報告いただき意見交換をするということが1点目です。2点目は、摂津市側の都市型居住ゾーンの事業コンセプトについて御説明いただき意見交換をすること。3点目は、前回の会議の際にも案ということでお出しさせていただきましたが、北大阪健康医療都市を中心とした健康・医療のまちづくりに関する考え方の中間報告ということで、前回から少し修正などをさせていただいておりますので、そちらについて御議論いただき、できれば本日、中間整理ということでまとめさせていただければと思っております。それから中間報告に先立ちまして、吹田保健所から、いくつか確認をさせていただきたいということで質問事項という形で資料5を出していただいておりますので、こちらについても意見交換をできればと思います。

それでは、まず議題1の駅前の複合商業施設について、4月の会議での議論からその後の店舗誘致までを含めて御説明いただければと思います。どうぞよろしくお願ひします。

A ー資料3「JR西日本からの提出資料」にて説明。

B ー資料3「JR西日本からの提出資料」にて説明。

事務局 ありがとうございます。それでは早速ですが、御質問、御意見等ございましたらお願いします。

C 歯科の診療所を開設されるということで、まず歯科医師会に入っただけなのかということをお伺ひします

B 医師会若しくは歯科医師会には必ず入会するということに御了承を得られた先生のみ、御採用させていただくということで、今までのハルカスやそのほかのモデルでも、その条件に御納得いただいた先生のみ御入居いただいております。

C 歯科医師会に入っただけということですが、歯科医師会に入っただくということは、社会貢献をしていただくということですので、例えば、学校の

校医をしていただいたり、乳幼児歯科健診に出ていただいたり、訪問の歯科健康診査を市の委託事業としてやっていただくことを御理解いただく必要があります。

B よく理解しています。

事務局 そのほかいかがでしょうか。

D 2点お伺いしたいのですが、コンセプトは特に言うことはないですが、この吹田操車場跡地、健都の立地は吹田市地域もありますが摂津市地域もあります。JRの資料には吹田のことは書いていますが、摂津市のことが書いていません。摂津の方にも1,500人の新しい住宅地ができますが、そこは視野に入れておられないということなのかどうか。我々の方には目が向いていच्छゃらないのかという印象を持ったので、コンセプトの組換えをするのかどうかをお伺いしたいというのが一つです。また、先ほどの質問にも関連すると思いますが、この市境にあるという立地ですから、先ほどのお答えでは三師会は吹田の方にはお入りになるとありましたが、摂津にも隣接している関係上、影響も出てくると思います。摂津の方との情報交換や意見交換の場をお考えなのかどうか、この2点をお伺いします。

A 吹田市のみならず摂津市とも一緒になってまちづくりをしていきたいと思っています。当然ながら新しくできる居住区域もございませし、その方々も含めて市民の利便を向上させる施設として貢献できるように、健康に資するような色々な施設につきましても吹田市、摂津市の市民の皆さまに使っていただけるよう工夫していきたいと思っていますところでは。

B 大変失礼いたしました。色々資料をお読みして、もちろん摂津市の御参加も認識しています。改めて当方の方から関係各所、もしくは三師会にごあいさつにお伺いしたいと思います。正式に御連絡して、その後の連携についてもお話しいきたいと考えています。

事務局 少し補足させていただきますと、昨年の9月に募集要項をURが出された際に、恐らく連携ということについては国立循環器病研究センターと市立吹田市民病院、そして吹田市となっていたので、そういう成り行きでこういう形になっているのかと思います。吹田市内に位置するということで三師会は吹田市に入っていたことになろうかと思いますが、当然市境にありますので摂津市との関係が発生するのは言うまでもなく、摂津市とのコミュニケーションのとり方については両行政と一緒に考えていきたいと思っています。

E いくつか質問と要望を述べさせていただきます。まず今のお話を聞いて、一つ

はここに八つの医療モールをつかって、それから市立吹田市民病院、国立循環器病研究センターもいれると、一次、二次、三次がここの中で完結してしまって、地域の三師会等にとってその連携やそれができることのメリットというのは一体どこにあるのだろうか、これを聞いて率直に思いました。地域をあげてこのプロジェクトに、三師会やほかの産業を含めて協力していきましょうということで、そのコンセプトを踏まえたいうで、八つの診療所が本当にここに必要なのだろうかということに関係の先生方等に確認をとっていただきたいと思ひます。先ほどのお話のあべのハルカスに私の知り合いが結構いますが、あべのハルカスに関しても近隣との連携がうまくいっていないと聞いています。薬局に関しても全国の手調剤薬局がきて、薬剤師会としては全然メリットが発生していないとか。コンセプトのつくりこみがどうなのか。あべのハルカスの中でも、既に、開業後途中でやめるところや経営がしんどいところがあるというような話も聞いております。様々な事情があるかと思ひますが、今回のコンセプトに関しては、地域と密な話し合いをしていただいて、各会のところに関してもきちんと説明にまわっていただいて、意見のくみ上げをしっかりとさせていただいたうで、プロデュースしていただきたいと思ひます。

最後に、会営の薬局とか、地域の連携の窓口となっていくようなコンセプトで我々も協力していきたいと考えています。色々な地元の産業もここに興味を持って出店していきたいとか、やっていきたいということを以前からお話していますが、明確にどこに相談しにいけばいいのかということ、きちっと組み立てていただきたいと思ひます。以上です。

B よくお調べいただいていると思ひます。ハルカスにつきましては、昨年の4月1日に13診療所でスタートして、約1年ちょっと経過しています。4月の処方箋枚数は約7,000枚、患者総数は1万人を超えており、21階、22階というポジションに関わらず、それだけの実績が上がっておりますので、医療モールとしては全般的には成功であると解釈しています。ただ、今ありました撤退というお話に関しては、消化器の先生ですが、我々は消化器内科・循環器内科・呼吸器内科と3軒並べる計画でやらせていただきました。我々は消化器の一般診療をやりたいと希望をつけたのですが、ハルカスという地でもっと拡大した事業をやりたい、内視鏡センターをやりたいとのことで一般診療なしのうで、御自分を出てこられないで勤務医に任せてその勤務医がどんどんやめていく、ということで多少経営的にも問題があると我々も思っていました。消化器の患者をどこに御案内したらいいか困っている状況で、我々の希望した診療体制をおとりいただけなかったというところが一つの原因かと考えています。

ハルカスを開業した時に、まず御近所の先生方にお知らせをしましたので、13のうち五つの診療所がハルカスに御移転いただきました。薬局にしましても過去におられたところの近くの薬局ですすでに定着しており、先生がハルカスに来られても、処方箋を持って元の薬局に戻られる形がずいぶんありました。特に、ある

科目などは90パーセントが外部に持って出られていますので、地域の薬局の皆さんとも、そこそこ円満に運営をさせていただいているようには解釈しております。善処はいたしますが、そのへんを御理解いただきながらよろしく願います。

事務局 資料のつくり上、この4街区の商業施設としてどうかということが書かれていますので、地域の三師会などとのやりとりは資料に入っていないということだと思いますが、まちづくり全体としては当然、地域の三師会と共にということだと思います。

そのほかいかがでしょうか。

F 感想と一つ質問をさせていただきたいと思います。感想について述べさせていただきます。たしかJR西日本には2回前の会議にお出でいただいて、その時には、なかなかコンセプトが出していただかず、喫煙の問題についても、まだ決まっていないのでそれ以上申し上げられませんということで、なかなか道りは遠いなという感じを受けていました。その後、私どもとも直接色々お話をさせていただいて、また内部でも色々御検討いただいたと思いますけど、本日からかなり具体的なコンセプトやファンクションについても出していただいて、もちろん今色々な方から御質問や御意見がありましたから、まだまだ調整の余地はあるかと思いますが、最初の時に比べてかなり具体的に事業をお書きいただき、御提案いただいたことに関しまして率直に敬意を表したいと思います。なお、引き続き具体化に向けて関係者と協議を進めていただきたいと思います。そういう中で、喫煙の問題についてもそうですが、やはりある程度テナントが決まらないと、JR西日本やアドバイザーだけでは、なかなか決めにくい問題があるのだらうと思います。ということで、テナントをどういうスケジュールで、特にクリニックモールなどにつきましても個別にあたっていかれるのか、あるいは広く募集をかけられるのか、この場でスケジュールやテナントの募集について、御説明できるところをお話しただけならと思います。

B 今日のごあいさつさせていただくことを第一としまして、それが終わりましたら、吹田・摂津の各医師会・歯科医師会・薬剤師会等の会長の先生方にごあいさつに参上しながら色々質疑応答して御理解いただくようにしたいと思います。JR西日本と協議した結果、この秋くらいから個別ドクターの募集に入りたいと思いますが、先ほどもお話ししましたとおり、まず地元の先生方にこういうものができますという内容をお知らせしながら、できれば御移転をお考えいただけないかというお願い事項を含めてお知らせするのを第一に考えています。それから独立される先生方は御用意するのに約1年半から2年の歳月がかかります。それは、お務めになっております病院、関係機関、若しくは大学等から円満に退職されて開業されるというような流れから、大体1年半ないし2年はかかりますので、その間にその先生にお会いして、まずお人柄、それから医療モールの中でチームワ

ークやコミュニケーションがとれる先生なのか、専門的な医療技術を十分お持ちかどうか、もちろん経歴書等もお出しいただいて、お人柄を中心に選ばせていただきます。我々としてはそういう手順でやっていますので、今後もそれでやっていきたいと思っています。

A 医療関係以外のスーパーや飲食関係につきましては、まだ公表できるレベルではないのですが、秋口にはある程度大型テナントを決めていきたいと思います。医療関連につきましてはオレンジ総研と相談しながら進めていきます。

事務局 それにつきましてはその都度お知らせいただき、地元の方々を含めて歩み寄られていくようお願いいただければと思います。

G 診療科目の選定につきましては、これはそちらで考えて必要であろうと選定された科目だと思いますが、病院の方にも相談が必要ですし、医師会の中での不平等感がないように十分に考えていただきたいと思います。もう一点、御説明があった中で医療クレームについての相談の場所を設置したいということですが、これは何を想定されているのですか。

B 過去に医療モールをつくらせていただいた時に、やっぱりクレマー患者が随分発生しました。医療モールの先生方のところでそういう事件が起きるということが多々ございまして、先生方がそれにいちいち対応していますと、電話が一日鳴りっぱなしになったり、大声で怒鳴りこんで来たりして、診療行為ができませんので、そのへんは事務局がお受けしてお手伝いするという事です。

G 医療モール内のトラブルに関する相談に限るということですね。

B さようございます。

G もう一つ、このごろは日帰り手術が推奨されています。特に、眼科の白内障手術とかは開業されているところでも日帰り手術をしないと儲けにならないですね。そうすると、市立吹田市民病院の診療科目とぶつかることもあるので、御相談いただきたいことの一つであると思います。トラブルのあった後だけ病院に行きなさいというのでは非常に困りますので。

B 決してそういうふうには考えていません。

G 結果的にはそうならないようにということです。それから診療科目については一方的に診療科目を決めておられるのは、それはそれでいいことなのかと疑問に思っていた点があります。また御説明に来ていただけるのでしょうか。

B 御説明にお伺いします。とりあえず会議に出席するに当たり、科目を提示してほしいと要望があり、ごく一般的に並べさせていただいたのですが、やはり両病院の御意向をよくお伺いしたいと思います。歯科については御要望がありました。

H 我々の施設には前もって話をしに来ていただいて、例えばどんな科が欲しいのか要望を出すというチャンスがあったのですが、我々が要望したのは精神科あるいは心療内科は絶対お願いします。夜間透析ができて入院ができる簡易施設みたいなものがあれば、病院としては非常にありがたいと言ったのですが、その時に歯科をほしいと言った記憶がありません。

B 我々は正直なところ、医療モールに歯科を入れてもほとんど処方箋も出ませんし、ハルカスの場合は大型の歯科を入れていますが、一般的には要望がない限り歯科は入れませんので、必要ないということであれば排除いたします。

H 記憶が飛んでいるのかもしれませんが、自分が言った記憶はありません。

B 先生がおっしゃっていたように思います。

事務局 今回の資料につきましては、7月3日の国立循環器病研究センターが主催された医療クラスター形成会議で、JR西日本が出された資料をベースにされています。こういう性質の会議ですから具体的にどういう科目を想定しているのかとかが見えないと議論が進まないでしょうということで、我々が御提案させていただいて、この趣旨をくみ取っていただいて4ページの上に予定科目ということで書いていただいたのではと推測しています。そういう意味では、これで決まっているというわけではなくて、こういうイメージですということで、今後御相談がスタートする段階にあるのかと私は思っています。それから確かに何かの会議でどなたかがお話しされて、歯科がここにはあったほうが良いという議論があったと記憶していますので、どなたが言ったかということより、そういった議論があったのは、事実だったと思います。この件については意見がいくらでもあると思いますが、時間の都合上、一旦切らせていただいて、また時間があまれば、また後日でも私どもの方に御質問等いただければ、お伝えして御対応できるような形をとらせていただきますので、御了承いただければと思います。

続きまして、議題の二つ目、7・8 街区都市型居住ゾーンの事業コンセプトについてということで、健康住宅地を目指すというふうに謳われていますので、どういった事業を進められるのか、地域との連携の話などについて、お話をいただければと思います。よろしく申し上げます。

I -資料4「近鉄不動産からの提出資料」にて説明。

事務局            ありがとうございます。御質問等ありましたらお願いします。

F                    個別に色々お話をさせていただいて、このような形で日常生活に運動を取り込むような住宅地の創造というお話をさせていただいていますが、運動以外にも健康増進を図る機能とかサービスとか色々考えられるかと思えます。私どもとしても色々提案していきたいと思えますので、ここだけにとどまらずもう少し幅広く、J R西日本の資料にありますように、具体的な項目で御提示いただけるように関係者とお話を進めさせていただければと思っています。

I                    当然そういうつもりですので、御意見等ありましたらよろしくお願いします。

E                    御質問させていただきたいのですが、二つあります。一つは内容ですが、何戸ぐらいで、分譲・賃貸とか、ここの具体的な内容を教えていただきたい。もう一つはこれからつくりこみをされていくのだろうと思いますが、例えばICTを使った健康増進とか、医療機関との連携というのはわかるのですが、具体的にどういうふうに取り組んでいるのか今描かれているイメージを教えてください。

I                    一つ目の規模ですが、最終的には間に道路がございまして、二敷地になりますが、二つの敷地を合わせて800～900戸ぐらいの規模の分譲マンションをつくっていきたくて考えております。

二つ目の御質問にありましたICT等の活用につきましては、今のICTの装置がどんな状況になっているのか当社自身がまだ勉強不足なので、国立循環器病研究センターからの依頼を加味しながら、マンションのまわりのサービスのなもので対応できるかと考えていますので、もう少し先になります。一番問題になってくるのは、販売時期と実際の入居時期が、分譲マンションの場合は、高層の建物になるので2年くらい間が空いてくる期間がございまして、契約をさせていただく重要事項説明の時に、こういうものがあると説明していたのが、果たして2年後どうなっていくのか、このへんを今後勉強していきたいと考えております。

J                    分譲マンションにテナント等が入る予定などをお聞きしたいのと、大集落地になります。住宅地の中に一般診療所の設置も可能なはずですが、当初からそういう予定があれば、三師会とも連携をとりたいので、そういう機会があればありがたいと考えています。

I                    当敷地につきましては、当社グループはすべて集合住宅で計画させていただいています。一戸建ての区画での販売は今のところ考えていません。マンションにおきましても、一部ではテナントを下に入れたような下駄ばきといわれるマンションはございますけど、今回はコンペの要件の中で、駅前商業施設もあるという



ことで、小規模のものしかつけれないという規制がもともと書かれておりまして、その規模であれば当社としては今のところ必要ないのではと考えており、すべて分譲マンションの部屋として考えております。

K 先ほどから地域包括支援の話とかが出ていたのですが、地域包括支援で今一番問題になっていることは、公助といいますか、医療とか福祉というものが基本的に非常に後退してきています。国は基本的にはその公助の部分を少し共助、お互いということに移していきたいということを行政とか医療の方に求めてきています。ここ数年そういう共助づくりみたいなことを会議等で医師会や市も取り組むことが多いのですが、なかなかバラバラなので難しいです。こうやって新しいまちづくりの際に何らかの形でそういういわゆる共助の部分をつくり、例えばマンションであれば管理組合で、法的には自治会に強制加入ができないようになっているので、初めからつくりつけて、健康に特化した形のなんらかの共助をつくりこんでいくのは考えとして難しいと思いますが、私の意見ですけど、そういう工夫や仕組みをつくれるようであれば素晴らしいものになると思うので、ちょっと勉強していただければありがたいと考えています。

L 国立循環器病研究センターの薬剤部と市立吹田市民病院の薬剤部のどちらも薬剤部長から今後、薬局をなさることについての要望書をいただいているのですが、どちらにお渡したらいいですか

事務局 事務局にいただければ、あとで回覧か配付できる準備をさせていただきます。今から会議が終わるまでにコピーを取って後ほど配付させていただきます。

よろしいでしょうか。引き続き、都市型居住ゾーンの件につきましても、この会議をやっていく折に進捗報告をしていただいで、質問や意見交換などをしていただくということでもよろしくお願ひします。

議題の三つ目の中間報告（案）についてですが、前回の会議の際の案を修正させていただきましたのが、資料 6 です。この中間報告については、本日まとめさせていただきますたく修正案の御説明をこれからさせていただきますと考えております。これに関連しまして、吹田保健所から少し質問をしたいということで事前に資料の御提出をいただいでおりますので、まずそれについて御説明いただいで少し意見交換をしたうえで、中間報告の修正案について説明をさせていただきますと思います。では、お願ひします。

M ー資料 5「吹田保健所からの提出資料」にて説明。

F いずれも非常に的確な御指摘だと思いますが、大変多岐にわたっておりますので、問い合わせについては担当からになりますことを御容赦いただきたいと思ひます。最初の導入部のところですが、J R 西日本が入居されるテナントの選定に

ついて、私どもは個別に J R 西日本と色々お話をさせていただいています。ただ、現段階ではまだテナントが正式に決まっていなくて、ある程度テナントが決まっていれば、もう少しこういうことは考えられないかとか、こういうことができるテナントで考えられないかとか色々お話もできるのですが、それが大体、秋頃に決まるとのことなのでその段階で具体的に私どもと J R 西日本、あるいは場合によってはほかの関係機関、市立吹田市民病院もおられますので、是非御指摘のような視点で、具体的に行動変容のためのサービス、機能をどういうふうにするのかについて調整をしていきたいと考えております。そういう意味では医薬基盤・健康・栄養研究所がそういった時にどういうノウハウをお持ちなのか、私自身承知しておりませんが、近々私どもの部長も医薬基盤・健康・栄養研究所の専門の先生にお会いするというのでございますので、そのお知恵を拝借したいというところです。

H 続きまして隣接することによる連携・機能分担についてですが、まず私からお話させていただきます。どのように二つの病院が連携していくかということに関しましては、既に2年くらい前から10回、医療連携連絡会議を二つの病院の間で開かせていただいて、個別のもの、全体のもの等色々議論を進めてまいりました。これがすぐに地域医療に結びつくというより、二つの病院でどういうふうに力を合わせるかという話でしたので、次回の会議に医師会の先生にも入っていただいて、今度は地域医療の中での連携について議論をしたいと思っています。具体的には、特に我々の施設は専門的な医療ですので、その領域に関しては絶対の自信を持っているのですが、少し離れた領域のところは、どうしても手薄になってしまいます。例えば、呼吸器疾患とか、悪性腫瘍、あるいは整形外科の問題等は市立吹田市民病院に手助けいただきたいということで、そこは合意を得られています。その中で一つ今後の問題として残っているのが精神科の領域の話で、市立吹田市民病院からもお話があるかと思いますが、両病院とも、特に我々のところは非常に弱いです。その一方で、循環器病における精神科的な問題というのが最近クローズアップされてきており、例えば認知症についても、血管が原因となっている認知症も結構多いのです。重大な循環器病の末期のころになると、精神的な問題が全面にきて、緩和ケアの問題もあり、ウツの状態は非常によくあることです。我々の施設は新しい治療法を見つけていけないといけない役割もあると思うので、できたら我々の施設に常勤の精神科医を置けるように頑張りたいと思っています。ただ、精神科医は現在非常に数が少なく、なかなか難しい。以前に一人確保させていただいたのですが、大学の准教授になって辞めていかれたということがありましたが、何とかそこは頑張りたいと思います。やはり市立吹田市民病院の力も借りたいと思いますので、それに関して次お願いします。

N 質問が多岐にわたっていますので、今日お答えできる範囲で説明したいと思います。精神疾患に関しては、現行は常勤の医師がおりませんので、応援の医師で

週 2 回外来を対応している状況です。基本構想、基本設計の中にも精神科の常設について謳っておりますので、当院といたしましても精神科の医師を確保していきたいと思いますが、今のお話にもありましたように数の問題でなかなか難しいという現実があります。ほかの外来でしたら往診も可能ではありますが、精神疾患の患者については現状のままいきますと対応が難しい状況です。地域医療支援病院ですが、御承知のとおり、当院はまだ取れておりません。地域医療支援病院の承認要件が、一年間を通しての紹介率は 50 パーセント以上、逆紹介率は 70 パーセント以上ということなのですが、27 年度 7 月までで紹介率 49.6 パーセント、逆紹介率 69.7 パーセントと、あともうちょっとというところまでできております。一年間の平均ですので平成 27 年度末までに何とか頑張ら上げていきたいと思っています。紹介率ということもありますけど、逆紹介率は当院で頑張らできることでもありますので、逆紹介率を頑張ら増やして地域医療支援病院の承認を取ってきたいと思っています。介護の先生方、診療所の先生方と信頼関係を構築しながら連携を取っていくことが、大事なのではないかと考えております。

地域医療構想については、大阪府のヒアリングがあり、その時の内容としては、市民病院の建替え事業については現時点では大阪府の医療計画に沿っているの認められてはいるが、今後地域医療構想が策定されると、それとの整合性を図っていく必要があるということもお聞きしております。地域医療構想は法律上平成 30 年 3 月までとありますが、大阪府の説明では平成 28 年半ばくらいまでの策定が望ましいと聞いており、時間もありませんが、我々は大阪府の公立病院協議会もございますので、策定します。趣旨としては専門的に高度医療に特化したナショナルセンターの国立循環器病研究センターと地域医療支援病院として総合的な医療を行う市立吹田市民病院の組合せは我が国でも初めての組合せであって全国でも注目されています。双方の建替えの案は着実に実行中でもありますので、そういったことを、地域医療構想の策定にあたっては勘案していただきたいと、このような趣旨を豊能医療圏の中でもあげていこうと考えていますので、よろしくお願ひしたいと思っています。

G 先ほどから話をしている内容になりますけど、精神科の医者に関しては、救急医療に関しての精神科患者の取扱いについても、精神科医がどこにもいませんので、大阪府をあげて困っている状況で、医者がおられません。精神科の医者を引き続き探す努力はしますが、病院の構想の中だけで確保できるような状況ではないので、かなりハードルが高いところであると思っています。

地域医療構想については、二次医療圏での意見の取りまとめをしている最中ですので、どの地域でどうというような細部にわたっての検討については、少なくとも半年から 1 年くらいはかかると思います。その中で二次医療圏での話し合いはしていかないといけないので、これに関しても、もう少し時間がかかるような気がします。

国立循環器病研究センターとの連携に関しましては、今、それぞれ病院が離れ

ていてそれぞれの医療の環境があるのですが、近くなることよってのメリットとしては、すぐ医者が行き来ができるのではないかと考えています。それに関しまして、国立循環器病研究センターの診察に市民病院から、スケジュールを決めてということになると思いますが、行って診察ができる、一つの例ですけど、そういう連携がしやすくなると思います。例えば、脳外科に関しても、超緊急症例に関しては、国立循環器病研究センターが隣に来ていただく訳ですから、そういう受け皿は国立循環器病研究センターにお願いすればいいことで、市立吹田市民病院が同じようにやる必要はないと、そのようなところでも共同戦線を張っていくことができるのではないかと考えております。

H 　　少し追加させていただきますと、地域連携の話ですが、我々の専門医療連携室で既に色々な試みをしておりまして、特に画像データ、あるいは電子カルテデータをできるだけここで見ていただくような仕組みをつくらうと考えていました。実は仕組みの部分まではできていたのですが、現在ストップしています。幸いにしてもうすぐ医療情報の専門家を招くことができそうな状況になりましたので、両施設の電子カルテの共有等を含めて頑張っていきたいと思っております。

　　地域連携パスのことを少しお書きになっていますが、地域連携パスは我々のところでは、特に脳卒中・心筋梗塞に関する二つのパスを中心になって動かしているところです。どちらも豊能医療圏が中心ですが、今度は三島・豊能の圏境に新病院ができますので、両医療圏を含むような形で動かしたいと考えています。以前より医師会の方からも要望がありますように、パスの書式、統一に関しても、基本情報のところともう少し専門化したような情報を分けるような形でパスとしての情報の取扱いをどうしようかという話をしているところです。いずれにしても新しい場所で地域連携はしっかり進めたいという気持ちは十分にありますので御理解いただきたいと思っております。

O 　　医薬基盤・健康・栄養研究所は、調査研究を行う施設で、日本におきまして様々な栄養のガイドライン、あるいは運動のガイドラインを策定しております。今回、国際産学連携センターのセンター長、栄養医学の専門家でございますけど、この先生を窓口にしまして、更に運動につきまして、運動増進研究部の部長にも入っていただきまして、どのようなことができるかについて話を進めていきたいと考えております。幸いなことに前向きに取り組んでいただけると話をいただいておりますので進めていければと考えております。

M 　　どうもありがとうございました。国立循環器病研究センターと市立吹田市民病院の大きな二つの病院の検討次第で構想が上手くいくかどうかの大きな分かれ道になると思います。リーダーシップをお願いしたいと感じますし、ひいては先ほど申しましたけど、あり方にもかなり影響を及ぼしてくる気がしますので、二つの病院で御協議いただいたものをJ R 西日本や近鉄不動産へフィードバックして

いただけるような話になることを切に希望いたします。

事務局 吹田市としましても、資料 5 の最初に書いていますように、両病院に挟まれる形で健康・医療のまちづくりの機能を有し、「来訪者に健康に関する行動変容を促す複合商業施設」ということで、J R 西日本とかねがねコミュニケーションを重ねてまいりまして、まさにこういうコンセプトで事業を組み立てて欲しいし、随所にこういう要素を盛り込んで欲しいと相談をさせていただいていますので、引き続き、それで進めていきたいと思っています。

今、お手元に配付をさせていただいておりますのが、先ほどお話のありました要望書ですので、少しコメントをいただければと思います。

L 先ほどから色々お話を聞きまして大変立派なものができるのだなというわけでございますけど、やはり私たちは吹田市民です。今のところ市立吹田市民病院は吹田市民の行きやすい場所にありますが、今後少し不便なところになってしまうので、患者は市立吹田市民病院に行きたいけれど遠くなります。公共機関だけを利用して来なさいというのか、それとも吹田市民のために何かいい策というのか、巡回バスを出すとか、そういうことはお考えになっているのでしょうか。どうお考えになっているかちょっとお聞きしたいと思います。

事務局 今お配りいただいた資料でもございますので、ここにお集まりの皆さんに見ていただきながら、どういったことができるのか検討させていただければと思います。この場で今、御回答というのは難しいと思いますので、そういうふうらせていただければと思います。

それでは、中間報告についてですが、前回からの議論を踏まえての修正ということで、資料 6 で、前回からの変更点に下線を引いてお示しさせていただきますので、簡単に修正の大きなポイントだけ説明させていただければと思います。

事務局 ー資料 6「北大阪健康医療都市を中心とした健康・医療のまちづくりに関する考え方について 中間報告【案】」にて説明。

事務局 簡単ではございますが、修正点の大きなポイントなどを御説明させていただきました。これらについて、又はそれ以外の中間報告全体についてでも構いませんが、御質問等はございませんでしょうか。

P 何回も議論しているので、概ね完成しているように見えますが、これを見るにつけ、今日お示しいただきました J R 西日本と近鉄不動産のコンセプトというのか、内容がどうリンクしているのか、どうリンクできるのかと非常に疑問を持っています。資料 6 は比較的かなりやってきたかという気がするのですが、たばこの問題一つにしても、大阪府のガイドライン遵守を求めるとありますが、J R 西日本

の方では一角に防煙ステーションを設けるくらいにとどまっています。それから、色々な人がおっしゃっているのが、既存のストックとの連携をどうつくるのか、そのことで地域全体にどうつなげるのかが非常に大事だと、繰り返し言われているのですが、そこはどうか担保されているのか。それが担保されないと大きなターミナルにメディカルモールが単体としてできてしまって、患者や客の取り合いをして、力の強いものが生き残ってしまうような、そんな印象を受けてしまいました。そういう意味でエリアマネジメントとか、この具体化について民の知恵とどう結びつけるのかが非常に大事だと思うのですが、漠然とした疑問点で申し訳ないのですが、あまりにもつながりがないような印象を受けて仕方がないです。

事務局

たばこの問題につきましては、前々回会議をした際に、たばこの対策というのは駅前商業施設内でしっかりとやるべきだと御議論をいただいたので、今回の資料ではそういう意味では、前々回よりかなり前向きに御検討いただいている状況かと思えます。一角といっても色々なパターンがあると思えます。人の目につくような場所なのか、あるいはわざわざ階段を上って隅っこまで行かないといけなような場所なのかということで大分印象が変わってこようかと思えますので、そういったコミュニケーションはとらせていただいていますし、またある程度こういうふうにしたいということが出てきましたら、御相談をさせていただきながら、決めていただくことになるのかと思えます。

二つ目の既存のストックとの連携につきましては、私どもの調整が足りなかった部分だと思っています。例えば、移転後の診療所や薬局との連携とか近隣病院との連携ということについてはあまり掘り下げてこの一年間議論をすることができなかったということで反省をしているところです。そういう意味では、最後の10ページには工程表といいますか、ロードマップをつけて今後、進捗管理をするということで、このまちづくりについてスタート地点に立ったような状況で、もう少しこれから深掘りさせていただくことが必要かと思っているところですので、引き続き御指導等いただければと思っています。

A

先ほどコメントいただきましたように、なるべく目につくところではなく、駐車場等の一角とか、1階とか2階ではない場所を考えておきまして、テナントにつきましても、共感いただけたところを探してまいりたいということで、そういったことを含め、健康に資するまちづくりでどこまでできるか、これからテナントとの協議に入っていく中でそういった工夫を重ねていきたいと考えております。

P

7ページの一番下から三つ目には、「大阪府受動喫煙の防止に関するガイドライン」を遵守することを求めるとはっきり書いてあるのですが、この件に関してJR西日本の部分には全然触れられていません。このガイドラインはそんなにきついものではなくて、時間分煙でもいいですよとか、分煙でもいいですよとか、民間の事業者と一緒に今後減らそうということをもとめたものですので、

そんな無茶な話ではないです。テナントに対して、ここに遵守するとはっきり書いてあるわけですから、共用スペースの完全禁煙はこれとはまた別の話です。これは一つの例なのですが、いろんな声、なかなか立派なものが書いてあるものが確実に実行するのだという仕掛けがもっとあって欲しいなど、それがなければ絵にかいた餅になってしまう感じがします。更に、先ほど診療所を八つつくるとの話もあったのですが、このエリアでは人口とか疾病の動向とか、既存のクリニックの機能とか、その分布とか、そういったものを踏まえたうえでの、本当の詳細な議論がなされているのかどうか。今後、2025年問題に向けて、こういうエリアに求められる仕掛けとか機能というのは一方でがんがんやっているわけです。そういったものを踏まえて、民のプランはその課題をもっと押さえるべきじゃないかと思います。よろしくお願いします。

事務局 大阪府受動喫煙の防止に関するガイドラインの件につきましては、多分守っていただくことをベースにされていくのではと思っておりますので、対外的に使っていく資料などにどう盛り込んでいくかについては今後相談をさせていただくということでもよろしいでしょうか。また、診療科目など、疾病動向の調査など、我々が協力できることはしていきますので、勉強させていただきたいと考えています。

F 1点修正をお願いしたいところがあります。4ページの認知症のところの3行目「研究治療面で貢献し吹田市及び」のところに「研究治療面で貢献し、吹田市及び」と「、」が抜けていますので、これが最終版ということであれば確認いただきたいというのが1点です。

それから御質問ですけど、折角一年間の議論ということでもとめたのであれば、これを公表し、特に市民の方々に、いかにPRしていくかということだと思っておりますが、そういう意味では今回、概要を作っていただいて分かりやすくPRをするのだと思うのですが、具体的なPRのスケジュール、やり方、更に、7月3日の医療クラスター形成会議で出させていただいたのですが、近隣住民の方々に先ほど話がでておりました、ICTを使った健康チェックを行うような、国立循環器病研究センターが中心にやろうとしております先行的な予防事業の資料とか、やや具体的なものを入れて市民の方々に、なるほどこのまちは、数年後、あるいは10年後にこういう姿になっているのだと、ということがわかるような効果的なPR、広報を考えていただきたいのですが、そこについてはどう考えているのですか。

事務局 資料で、「、」が抜けていましたので、入れさせていただければと思います。大変申し訳ありませんでした。

それから、公表については最後に申し上げようかと思っていたのですが、実は我々の方で、この北大阪健康医療都市の2街区といわれる市立吹田市民病院からさらに吹田の方に行ったところなのですが、鉄道運輸機構が持っている約4,000

平方メートルの土地を吹田市が取得しようと思っ­ていま­して、この件につ­きま­し­ては、中間報告で申­し­ま­す­と、8 ページにな­り­ま­す。7 行目の緑のふれあ­い­交­流­創­生­ゾ­ン 2 というところ­で、健康・医療のま­ち­づ­く­りの観­点­か­ら、医療や福祉関­係­の事­業­が一­体­と­な­っ­た高­齢­者­向­け複­合­居­住­施­設­の整­備­を進­め­て­い­く­とあ­り­ま­す。土­地­購­入­の件は吹­田­市­の市­議­会、7 月­の市­議­会に提­出­し­て­お­り­ま­し­て、その成否につ­き­ま­し­ては明日決­ま­る­い­う­こ­と­に­な­っ­て­お­り­ま­す­の­で、取­り­ま­と­め­に­つ­き­ま­し­ては本日御意­見­を­い­た­だ­い­て、修­正­さ­せ­て­い­た­だ­き、明日の議­会­の結­果­を­待­っ­て明日付­け­で­ま­と­め­い­う­ふ­う­に­さ­せ­て­い­た­だ­け­れ­ば­と­思­っ­て­お­り­ま­す。吹­田­市­に­は、担­当­の記­者­が­お­り­ま­す­の­で、概­要­に­つ­い­ては投­げ­込­み­を­さ­せ­て­い­た­だ­こ­う­か­と­思­っ­て­い­る­と­こ­ろ­で­す。ま­た、市­民­向­け­に、も­う­少­し­わ­か­り­や­す­い­資­料­を­と­い­う­こ­と­も、確­か­に­お­っ­し­ゃ­る­と­お­り­だ­と­思­い­ま­す­の­で、ま­ち­づ­く­り­に­関­し­てはソフ­ト­系­の­話­とハ­ード­系­の­話­の両­輪­だ­と­思­い­ま­す­の­で、分­か­り­や­す­く市­民­の­皆­さ­ん­に­プ­レ­ゼ­ン­テ­ー­シ­ョ­ン­で­き­る­形­を­少­し­検­討­さ­せ­て­い­た­だ­い­て、遅­く­な­い­う­ち­に周知­で­き­る­形­に­持­っ­て­い­き­たい­と­思­っ­て­い­ま­す。

それ­で­は、若­干­修­正­を­さ­せ­て­い­た­だ­き­ま­し­て、今申­し­上­げ­ま­し­た­と­お­り、議­会­を­待­た­せ­て­い­た­だ­き­ま­し­て、少­し­文­言­の書­き­方­を修­正­さ­せ­て­い­た­だ­い­た­う­え­で、ま­と­め­と­さ­せ­て­い­た­だ­き­たい­と­考­え­て­い­ま­す­の­でよ­ろ­し­く­お­願­い­し­ま­す。

今­後­に­つ­い­て­で­す­が、中­間­報­告­に­つ­き­ま­し­ては定­期­的­な進­捗­管­理­を­す­る­い­う­こ­と­で­ま­と­め­さ­せ­て­い­た­だ­き­ま­し­た­の­で、その手­法­に­つ­い­ては吹­田­市­と摂­津­市­で相­談­し­な­が­ら検­討­さ­せ­て­い­た­だ­い­て、次­回­の健康・医療のま­ち­づ­く­り­の会­議­で­は­ど­う­い­っ­た進­捗­管­理­を­し­て­い­く­の­か御­説­明­さ­せ­て­い­た­だ­き­たい­と­思­い­ま­す。開­催­頻­度­に­つ­き­ま­し­ては、今­ま­で­は 2 か­月­に 1 回開­催­さ­せ­て­い­た­だ­き­ま­し­た­け­ど、も­う­少­し期­間­を­あ­け­ま­し­て、3~4 か­月­に一­度­く­ら­い­の­間­隔­の開­催­の­方­向­で進­め­さ­せ­て­い­た­だ­け­れ­ば­と­思­っ­て­お­り­ま­す。も­ち­ろ­ん必­要­に­応­じ­て開­催­し­て­い­く­予­定­で­す。

最­後­に参­考­資­料 1 という­こ­と­で、これ­は前­回、健­都­のま­ち­づ­く­り全­体­が、今­ど­う­な­っ­て­い­る­の­か­と御­質­問­が­ご­ざ­い­ま­し­た­の­で、各­プ­ロ­ジ­ェ­ク­ト­の進­捗­状­況­に­つ­き­ま­し­て、特­にハ­ード­面­が中­心­に­な­り­ま­す­が、そ­れ­ぞ­れ­お­示­し­さ­せ­て­い­た­だ­い­て­お­り­ま­す­の­で、担­当­か­ら御­説­明­さ­せ­て­い­た­だ­け­れ­ば­と­思­い­ま­す。

事務局           －参考資料 1「スケジュール」にて説明。

事務局           よろしいでしょうか。

F               補­足­を­さ­せ­て­い­た­だ­き­ま­す。国­立­循­環­器­病­研­究­セ­ン­タ­ー­の建­替­え­工­事­に­つ­き­ま­し­ては、今御­説­明­い­た­だ­き­ま­し­た­よ­う­に、基­本­設­計­が­こ­の春­に­終­わ­り­ま­し­て、こ­れ­か­ら実­施­設­計­及­び建­設­に­入­る­い­わ­ゆる­デ­ザ­イン­ビ­ル­ド­方­式­い­う­こ­と­で、実­施­設­計­と­施­工­を­一­体­に­行­う事­業­者­の選­定­作­業­を­し­て­ま­い­り­ま­し­た。先­週­の金­曜­日­に開­札­が­行­わ­れ­ま­し­て、今­日­午­前­中­の理­事­会­で­了­解­を­得­ま­し­て、本­日 5 時­に事­業­者­の公­表­を­行­う­い­う­こ­と­で­す。従­い­ま­し­て、大­変­恐­縮­で­ご­ざ­い­ま­す­け­ど 5 時­に­な



りましたら事業者の公表をさせていただく予定です。事業者と契約を結んで、この秋すぐから実施設計に入りまして、建築工事に移行するということです。数百億円に及ぶ大規模プロジェクトですので、関係の方々に今後調整等出てまいりますけど、御協力いただけましたら大変幸いです。以上です。

事務局        そのほか、よろしいでしょうか。

N                市立吹田市民病院は昨日 8 月 3 日付けで入札の公告を行いました。これはホームページにも出ておりますのでこれから入札があって、実際には今年の冬ぐらいに決まるかと思います。国立循環器病研究センターと同じくデザインビルド方式で進めさせていただきたいと考えています。あとは、このスケジュールのとおりです。

事務局        それでは皆様のおかげをもちまして、中間整理ができました。引き続き進捗管理をしながら、まちづくりの進捗についても共有していきたいと思います。本日はこれで終了させていただきます。ありがとうございました。